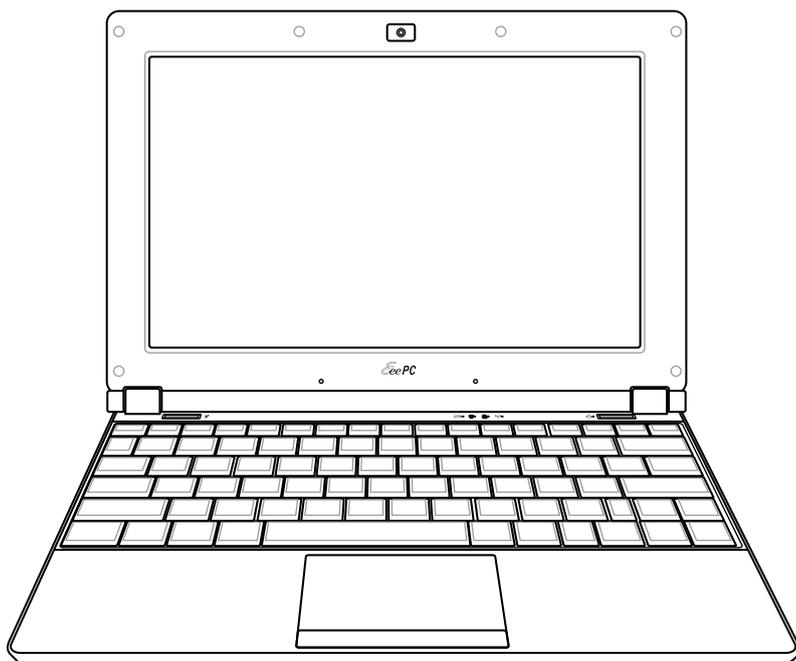


Eee PC

ユーザーマニュアル

Windows[®] XP Edition Eee PC 1003HAG



15G06Q128050

もくじ

| | |
|---------------|-----|
| もくじ | ii |
| 本マニュアルについて | iv |
| 本マニュアルの表記について | iv |
| 安全上の注意 | v |
| 運搬時の注意 | vi |
| バッテリーの充電 | vii |
| 航空機内での使用について | vii |

1. 各部の名称と説明

| | |
|-------------|------|
| 上面 | 1-2 |
| 底面 | 1-5 |
| 右側 | 1-7 |
| 左側 | 1-8 |
| 背面 | 1-8 |
| キーボードを使用する | 1-10 |
| ホットキー | 1-10 |
| タッチパッドを使用する | 1-12 |
| 指2本での操作 | 1-12 |

2. 使用の手引き

| | |
|-------------------------|------|
| 電源をONにする | 2-2 |
| 初めて起動する | 2-3 |
| デスクトップ | 2-5 |
| ASUS EeePC Tray ユーティリティ | 2-6 |
| デバイスをON/OFFにする | 2-6 |
| ディスプレイの解像度を調節する | 2-7 |
| ネットワーク接続 | 2-8 |
| 無線ネットワーク接続を構築する | 2-8 |
| ローカルエリアネットワーク | 2-9 |
| Web ページを閲覧する | 2-12 |

3. Eee PCを使用する

| | |
|---------------------|-----|
| ASUS Update | 3-2 |
| インターネット経由でBIOSを更新する | 3-2 |
| BIOSファイルからBIOSを更新する | 3-3 |
| SIMカードを取り付ける | 3-4 |
| 3G Watcher | 3-5 |

| | |
|------------------------------|------|
| Bluetooth 接続..... | 3-22 |
| Super Hybrid Engine | 3-24 |
| Super Hybrid Engine モード..... | 3-24 |

4. システムリカバリー

| | |
|--|-----|
| サポートDVD情報..... | 4-2 |
| サポートDVDを実行する | 4-2 |
| ドライバメニュー | 4-3 |
| ユーティリティメニュー | 4-3 |
| 連絡先メニュー..... | 4-3 |
| その他の情報..... | 4-3 |
| システムリカバリー | 4-4 |
| サポートDVDを使用する | 4-4 |
| システムディスクパーティションを使用する..... | 4-5 |
| Boot Booster..... | 4-6 |
| Norton Internet Security 2009 60日間体験版..... | 4-7 |

付録

| | |
|---|------|
| Declarations and Safety Statements..... | 4-10 |
| Copyright について..... | 4-21 |
| 責任制限..... | 4-22 |
| サービスとサポート | 4-22 |

本マニュアルについて

本書は、本機のユーザーマニュアルです。本書では本機の構成部品の説明やその使い方について説明します。本書は以下の章から構成されています。

1. 各部の名称と説明

Eee PCの構成部品について解説します。

2. 使用の手引き

本機を最初にお使いになる時に必要な情報です。

3. Eee PCを使用する

Eee PCの各ユーティリティの使い方です。

4. サポートDVDとシステムリカバリー

サポートDVDとシステムリカバリーに関する情報です。

付録

安全上の注意についての記載です。



実際に付属しているアプリケーションは、モデルと販売する国や地域によって異なります。なお、本書の記載内容には万全を期していますが、本書に記載の図や写真と本機の実際の外観が一致しないことがあります。ご了承ください。

本マニュアルの表記について

注意事項等は重要性によって以下のように区別しています。



警告: 本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するための情報です。



重要: 本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するために必ず行わなければならない事項です。



ヒント: 作業の参考になるヒントです。



注: 作業を完了するために必要な追加情報です。

安全上の注意

本機を末長くお使いいただくために以下の注意事項を守ってください。本マニュアルに記載されていない事項については、技術者等にご相談ください。損傷のある電源コードや周辺機器を使用しないでください。本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。



本機のお手入れの際は、電源を切りAC電源アダプタとバッテリーパックを取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。



禁止：平らでない、不安定な場所に置かないでください。筐体を破損した場合には、代理店にご連絡ください。



禁止：上に物を置いたり落としたりしないでください。内部に異物が入らないようにしてください。



禁止：ホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。ガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。



禁止：強い磁気を近づけないでください。



禁止：ディスプレイに触れないでください。また、ディスプレイパネルを傷つける、本体内部に入る可能性のある物とは一緒に保管しないでください。



禁止：液体・雨・湿気を避けてください。雷の発生時はモデムを使用しないでください。



禁止：本機の使用中は、底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。



バッテリーの管理：火中に投げないでください。回路をショートさせないでください。分解しないでください。



安全な操作温度：本機は5°～35°の周辺温度でご使用ください。



入力定格：本機の底部に記載があります。本機の入力定格に対応している電源アダプタをご使用ください。



禁止：電源がONの状態でご本機を持ち運んだり、キャリーバッグに入れたり、カバーをしったりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。



バッテリー：バッテリーは製造元が指定する物をご使用ください。それ以外の物を使用した場合、爆発や本機の故障の原因となります。



禁止：本機は水銀ボタン電池を含む電気機器です。一般ゴミとして廃棄しないでください。本機はリサイクル可能な設計がされています。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



禁止：本機のバッテリーを通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は地域の条例等に従ってください。

運搬時の注意

本機を持ち運ぶ場合は電源をOFFにし、各コネクタを保護するため、全ての外付け周辺機器を本機から取り外してください。本機を移動するときは、必ず電源をOFFにしてください。キーボードやディスプレイを保護するため、ディスプレイパネルが閉じていることを確認してください。

本体の表面の「ツヤ」は、正しく扱わないと失われてしまいます。持ち運びの際はキャリーケース等をご使用ください。また、本体表面をこすったりひっかいたりしないようご注意ください。

バッテリーの充電

ACアダプタが本機とコンセントに接続されていれば、バッテリーは自動的に充電されます。本機の電源がONの場合は充電時間は長くなります。

初めてバッテリーを使用する際、またはバッテリーの残量が少なくなった場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください（8時間以上）。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。なお、バッテリーは充電と放電を数回繰り返すことで、最大限に充電できるようになります。

航空機内での使用について

航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。一般的に離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。



空港のセキュリティ装置には3つのタイプがあります。X線装置（荷物用）、磁気センサ（セキュリティゲートを通過する人間用）、および磁気ワンド（人間や小物用の短い棒）です。本機やハードディスクを X 線装置に通すことは問題ありませんが、磁気センサや、磁気ワンドは避けてください。

上面

底面

右側

左側

背面

キーボードを使用する

タッチパッドを使用する

各部の名称と説明

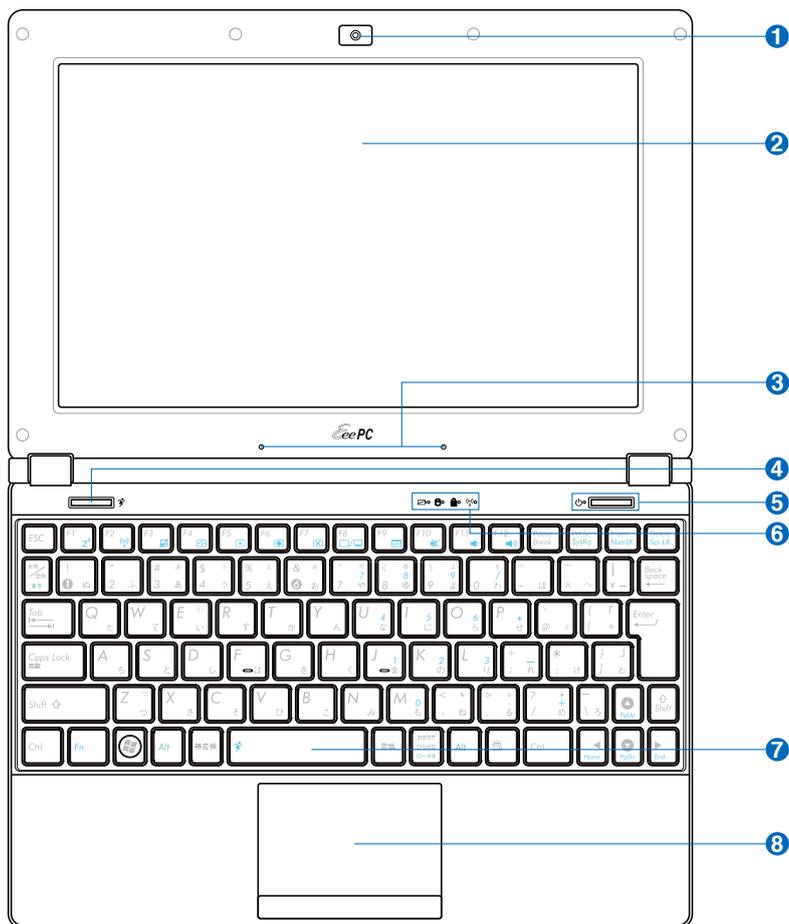
1

上面

下図は、本機の上面の図です。



上面のレイアウトはモデルによって異なります。



キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

1  **内蔵カメラ**

2  **ディスプレイパネル**

3  **アレイマイク（内蔵型）**

内蔵型アレイマイクです。従来型のマイクと比較し、エコーが少なく、クリアな音質がお楽しみいただけます。

4  **Super Hybrid Engine キー**

このキーで各節電モードを切り替えます。選択したモードはディスプレイ上に表示されます。

5  **電源スイッチ**

電源スイッチは、電源のON/OFFや、STR からの復帰に使用します。一度押すと電源がONになり、電源ONの状態です押し続けると強制的にシャットダウンします。電源スイッチはディスプレイが開いている場合のみ機能します。

 **電源インジケータ**

電源インジケータ点灯時は本機の電源はON、点滅時は本機は Save-to-RAM（サスペンド）モードに入っています。このLEDがOFFのときは、本機の電源はOFFの状態です。

6  **ステータスインジケータ**

 **バッテリー充電インジケータ**

バッテリー充電インジケータ (LED) は、次のようにバッテリーの状態を示します。

電源ON

| バッテリー残量 | アダプタ使用 | アダプタ不使用 |
|----------|--------|---------|
| 95%–100% | グリーンON | OFF |
| 11%–94% | オレンジON | OFF |
| 0%–10% | オレンジ点滅 | オレンジ点滅 |

(次項へ)

電源OFF/スタンバイモード

| バッテリー残量 | アダプタ使用 | アダプタ不使用 |
|----------|--------|---------|
| 95%–100% | グリーンON | OFF |
| 11%–94% | オレンジON | OFF |
| 0%–10% | オレンジ点滅 | OFF |



バッテリー充電インジケータは、本機からバッテリーを取り外した場合は点灯しません。

ハードディスクドライブ (HDD) インジケータ

ハードディスクドライブでデータの読み書きが行われている場合に点滅します。

Caps Lock インジケータ

ランプが点灯しているときは、Caps Lock が有効になっています。

無線/Bluetooth インジケータ

LAN/Bluetooth(BT)機能内蔵モデルのみです。本機の内蔵無線LAN/BT機能が有効になっているときに点灯します。

7 キーボード

キーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。

8 タッチパッドとボタン

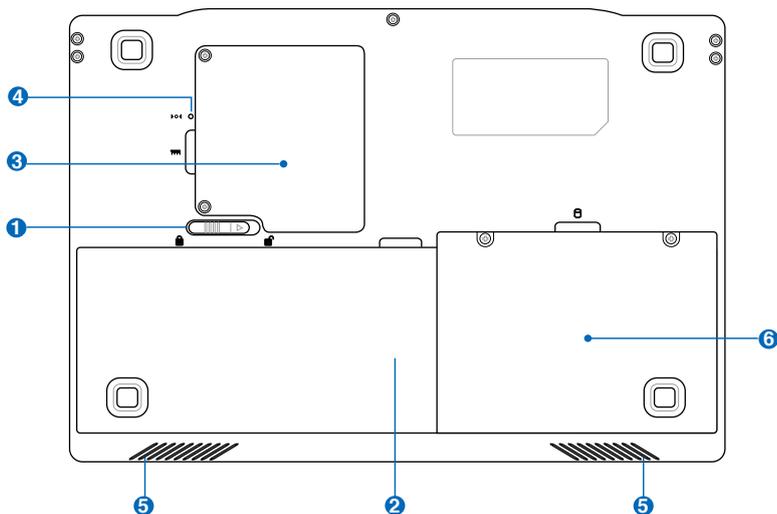
タッチパッドとボタンはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

底面

下図は本機の底面の図です。



底面のレイアウトはモデルによって異なります。



充電中や操作中は、本機の底面は高温になります。通気孔をふさぐ恐れがありますのでソファやベッドのような柔らかい面の上で使用しないでください。また、火傷の原因となりますので本機を膝または身体の他の部分に載せて操作しないでください。

① バッテリーロック (バネ状)

バッテリーパックを入れると自動的にロックし固定します。バッテリーを取り外す際は、このロックを元の方向に戻してください。

② バッテリパック

バッテリーパックはACアダプタを接続すると自動的に充電し、ACアダプタが取り外されているときは、本機に電力を供給します。バッテリーパックを装備していれば、さまざまな場所で本機を利用することが可能です。バッテリー駆動時間は Eee PC の使用法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解しないでください。

③ メモリコンパートメント

メモリがこのコンパートメントに収納されています。

④ リセットボタン（緊急時）

OS を正しく終了できない、再起動できない場合に、クリップなどでリセットボタンを押して本機を再起動することができます。



リセットボタンは特定モデルのみの搭載です。

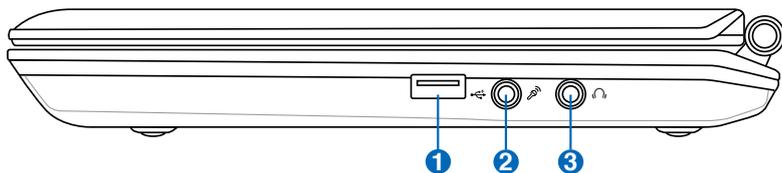
⑤ オーディオスピーカーシステム

⑥ HDDコンパートメント

ハードディスクドライブ (HDD) がこのコンパートメントに収納されています。

右側

下図は本機の右側の図です。



① **USBポート (2.0/1.1)**

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっており、キーボード、ポインティングデバイス、カメラ、ストレージなどが接続できます。USB1.1 接続は最高12Mbps/sec、USB2.0接続は最高480Mbps/秒の転送速度に対応します。USBはハブのように機能するUSBキーボードやモニタなどの周辺機器と併用すれば、1台のコンピュータで同時に複数のデバイスの使用が可能になります。また、USBはホットプラグに対応しているため、周辺機器の取り付け・取り外しが再起動せずに行えます。

② **マイクジャック**

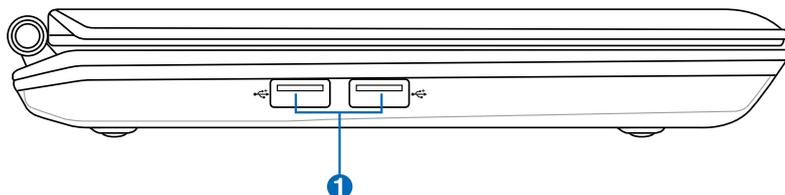
マイクを接続し、Skype、音声ナレーション、簡単な録音に使用することができます。

③ **ヘッドホン出力ジャック**

本機に外付けスピーカーまたはヘッドホンを接続するには、1/8 インチ ステレオヘッドホンジャック (3.55mm) をご使用ください。なお、このジャック使用時は、内蔵スピーカーは自動的に無効になります。

左側

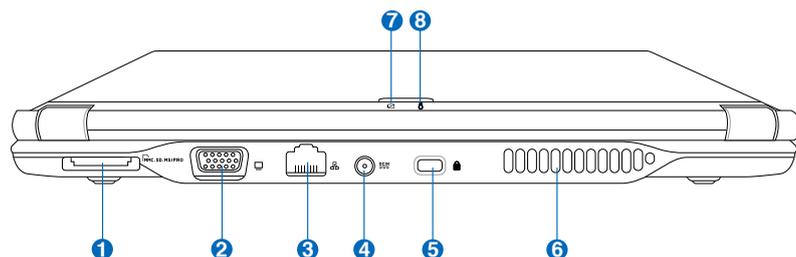
下図は本機の左側の図です。



- ① USBポート (2.0/1.1)

背面

下図は本機の背面の図です。



- ① メモリカードスロット

内蔵のメモリカードリーダーにより、MMC/SDカード、MS-PROカードの読み込みが可能です。

- ② ディスプレイ (モニタ) 出力

D-Sub 15ピンモニターポートは、モニターやプロジェクタなどの標準のVGA互換デバイスをサポートし、それらに画面を表示することが可能です。

- ③ LANポート

8ピンのRJ-45 LANポート (10/100M bit) はローカルネットワークに接続するための標準イーサネットケーブルをサポートします。増設アダプタ不要の便利な内蔵コネクタです。

4 電源入力

このジャックに付属のACアダプタを接続します。ACアダプタはAC電源をDC電源に変換し、本機に電力を供給しバッテリーパックを充電します。本機とバッテリーパックの損傷を防ぐため、常に付属のACアダプタを使用するようにしてください。



本機は使用中高温になることがあります。身体に密着して使用しないでください。火傷の原因となります。

5 Kensington® ロックポート

Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルとロックが含まれ、固定された物体から本機を取り外せないようにしてあります。

6 通気孔

本機内部で暖まった空気を逃がします。



紙や本、衣類、ケーブル等、通気を妨げる恐れのあるもので通気孔を塞がないでください。オーバーヒートの原因となります。

7 バッテリー充電インジケータ

バッテリー充電インジケータ (LED) は、バッテリーの状態を表示します。詳細はページ 1-3、1-4 の表示をご参照ください。

8 電源インジケータ

電源インジケータ点灯時は本機の電源はON、点滅時は Save-to-RAM (サスペンド) モードに入っており、点灯していないときは、本機の電源はOFFの状態です。

キーボードを使用する

ホットキー

コマンドが表記されたキーについて説明します。コマンドは、Function キー <Fn> を押しながら、コマンドが表記されたキーを押して実行します。なお、特定の機能アイコンは、有効にするとタスクバーのシステムトレイに表示されます。



各ホットキーの位置とアイコンの表示はモデルによって異なる場合がありますが、機能は同じです。



zzZ アイコン (F1) : システムをサスペンドモードにします。(Save-to-RAM)



ラジオタワーアイコン (F2) : 無線モデルのみに搭載です。オンスクリーンディスプレイ機能で内部無線LANのON/OFFを切り替えます。有効にすると対応するインジケータが点灯します。



タッチパッドアイコン (F3) : タッチパッド機能のON/OFFを切り替えます。



解像度選択アイコン (F4) : ディスプレイの解像度を選択します。



小さい太陽アイコン (F5) : ディスプレイの輝度を下げます。



大きい太陽アイコン (F6) : ディスプレイの輝度を上げます。



スクリーンアイコン (F7) : ディスプレイのバックライトをOFFにします。OFFの状態ではONにします。



LCD/ディスプレイアイコン (F8) :

液晶ディスプレイと外部ディスプレイの切り替えを行います。



タスクマネージャアイコン (F9) :タスクマネージャを開きます。タスクマネージャではアプリケーションの動作の確認と管理ができます。



ミュートアイコン (F10) :スピーカーの音量をゼロにします。



スピーカー(↓)アイコン (F11) :スピーカーの音量を下げます。



スピーカー(↑)アイコン (F12) :スピーカーの音量を上げます。



Num Lk (Insert) :数値キー(数字ロック)のON/OFFを切り替えます。数字入力時にキーボードの大部分を使用できるようにします。



Scr Lk (Delete) :スクロールロックのON/OFFを切り替えます。セルをナビゲーションする場合に、キーボードの大部分を使用できるようにします。



Pg Up (↑) :ドキュメントやブラウザを上方向にスクロールします。



Pg Dn (↓) :ドキュメントやブラウザを下方向にスクロールします。



Home (←) :行頭にカーソルを移動します。



End (→) :行末にカーソルを移動します。



Spacebar :各節電モードを切り替えます。選択したモードはディスプレイ上に表示されます。



Windows アイコン :「スタート」メニューを表示します。



メニュー&カーソルアイコン :右クリックに相当し、押すとプロパティメニューが開きます。

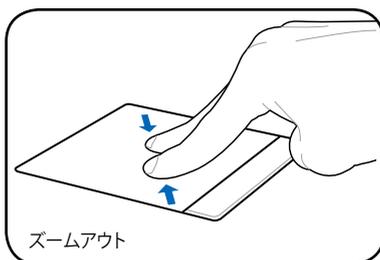
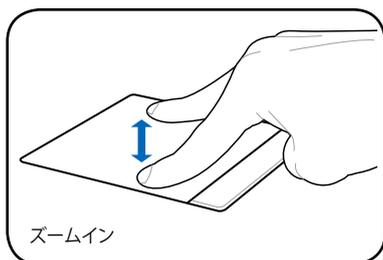
タッチパッドを使用する

指2本での操作

| 指での操作 | アプリケーション |
|-------------------|--|
| 指2本でのズームイン/ズームアウト | StarSuite Writer/Impress、 Adobe Reader、Photomanager |

ズームイン/ズームアウト:

2本の指先の距離を広げる、または狭めることでズームイン/ズームアウトが可能です。画像やドキュメントの閲覧にご活用ください。



電源をONにする

初めて起動する

デスクトップ

ASUS Eee PC Tray ユーティリティ

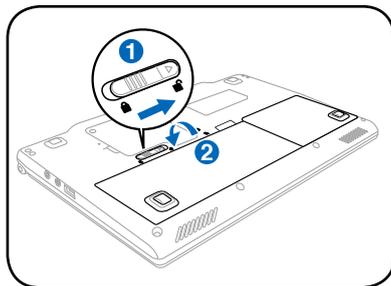
ネットワーク接続

使用の手引き 2

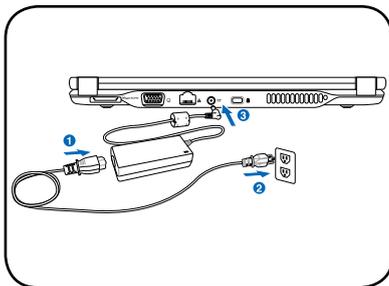
電源をONにする

本項は本機の使用方法を簡潔に記載したものです。

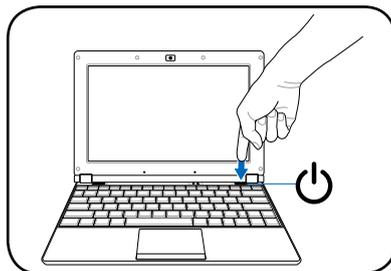
1. バッテリーパックを入れる



2. ACアダプタを接続する



3. 電源をONにする



指定外のアダプタを本機に接続しないでください。また、故障したACアダプタの使用はバッテリーパックと本機の故障の原因となります。



- ディスプレイを無理に開かないでください。ヒンジを破損する原因となります。また、ディスプレイを持って、パソコン本体を持ち上げないでください。
- アダプタとバッテリーパックは、本機に添付のもの、または製造元及び販売店が指定するものをご使用ください。指定外の物を使用された場合は、本機の故障の原因となります。なお、アダプタの出力電圧は +12V DC、3Aです。
- 本機の電源がONの状態のときは、絶対にバッテリーパックを取り外さないでください。大切なデータが失われる場合があります。



初めてバッテリーを使用する際、またはバッテリーの残量が少なくなった場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください。

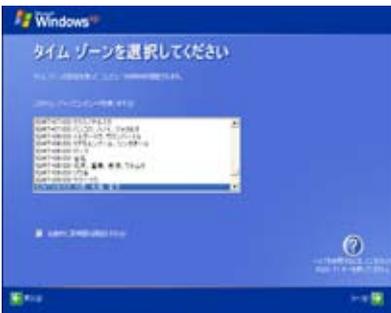
初めて起動する

本機を初めて起動するとき、Windows のセットアップ用のウィザードが自動的に起動します。ウィザードの指示に従って、セットアップを実行してください。

1. 電源を入れてください。Windows XPの初期設定開始画面が現れます。「次へ(N)」をクリックします。
2. 地域や言語、キーボードの設定が使用する環境に合っていることを確認します。誤りがなければ「次へ(N)」をクリックします。



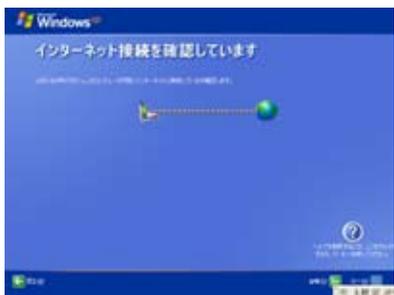
3. タイムゾーンがお使いの環境と合っているか確認します。誤りがなければ「次へ(N)」をクリックします。
4. 「同意します(Y)」にチェックを入れてたら、「次へ(N)」をクリックします。



5. コンピュータ保護に関する設定選択画面です。任意で選択してください。チェックを入れた後、「次へ(N)」をクリックします。
6. コンピュータの設定画面です。設定は任意です。特に設定する必要がなければ「省略(S)」をクリックします。「省略(S)」、「次へ(N)」をクリックした後、数分お待ち頂く場合がございます。



7. インターネット接続の設定画面です。任意で設定してください。特に設定する必要がなければ「省略(S)」をクリックします。
8. Microsoft へのユーザー登録の選択画面です。任意で選択し、チェックを入れます。チェックを入れた後、「次へ(N)」をクリックします。



9. コンピュータ名を任意で入力してください。その後「次へ(N)」をクリックします。
10. 以上で設定は完了です。「完了(F)」をクリックします。



デスクトップ

デスクトップ上にはいくつかのショートカットが表示されます。アプリケーションを起動するには、ショートカットをダブルクリックします。最小化されたアイコンが、タスクバーのシステムトレイに表示されるアプリケーションもあります。



デスクトップの実際の画面はモデルにより異なります。

ASUS EeePC Tray ユーティリティ

本製品の起動時には、ASUS EeePC Tray Utility が自動起動します。消費電力の低減や解像度の変更に役立ちます。

デバイスをON/OFFにする

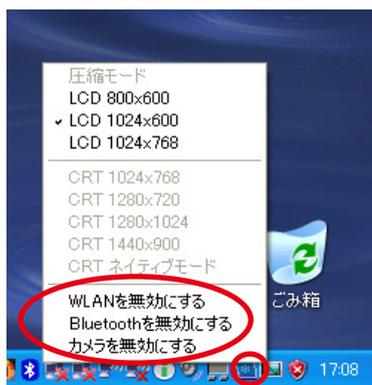
手順

1. タスクバーのシステムトレイにある ASUS EeePC Tray Utility アイコンを右クリックします。クリックすると、以下のオプションが表示されます。

WLANを有効/無効にする:無線LAN接続のON/OFFを切り替えます。

Bluetoothを有効/無効にする:Bluetooth 接続のON/OFFを切り替えます。

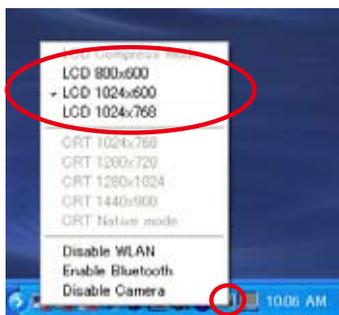
カメラを有効/無効にする:内蔵型カメラのON/OFFを切り替えます。



2. 各オプションを選択して、ON/OFFを設定してください。なお、利用できないオプションはグレー表示となります。

ディスプレイの解像度を調節する

タスクバーのシステムトレイにあるASUS EeePC Tray Utility アイコンを右クリックします。表示されるオプションから解像度を選択します。



外部ディスプレイを接続していない場合、CRT に関連するオプションは利用できません。

LCD 1024 × 768 を選択した場合は、カーソル操作で画面をスクロールさせます。



スクロールして、画面の上部分を表示



スクロールして、画面の下部分を表示



「**圧縮モード**」を選択した場合は、画面をスクロールする必要はありません。



本機のディスプレイモードが「**CRT Only**」で、電源モードが「**Power Saving**」のときは、1024×600 以上の解像度に設定しないでください。接続した外付けディスプレイが正常に動作しない場合があります。



Windows Media Player 等の特定のアプリケーションは、「**圧縮モード**」と互換性がありません。
なお、DVDを再生する際は、外付け光学ドライブとDVD再生ソフトが必要となります。

ネットワーク接続

無線ネットワーク接続を構築する

1. 通知エリアにある無線ネットワークアイコンをダブルクリックします。



システムトレイ上に無線接続アイコンが表示されない場合は、無線ネットワーク接続の構築の前に、 +  (<Fn> + <F2>) を押して無線LAN機能を有効にします。

2. リストから接続する無線アクセスポイントを選択し、「接続」をクリックします。



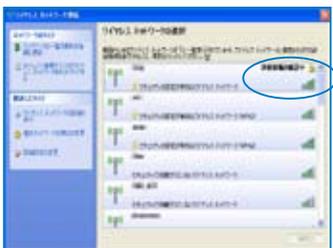
アクセスポイントが表示されない場合は、左メニューの「ネットワークの一覧を最新の情報に更新」をクリックし、再検索してください。



3. 接続の過程で、ネットワークキーの入力が必要な場合があります。



4. 接続が確立すると、右の写真のようにアクセスポイント名の横に「接続」等の接続状態が表示されます。



5. タスクバーのシステムトレイに無線ネットワークアイコンが表示されます。



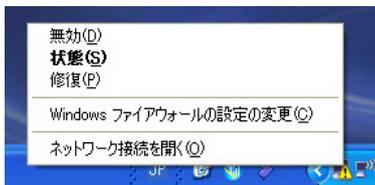
 +  (<Fn> + <F2>) を押すと WLAN 機能が無効になり、無線接続アイコンも表示されなくなります。

ローカルエリアネットワーク

有線ネットワークを設定する

動的 IP を使用する

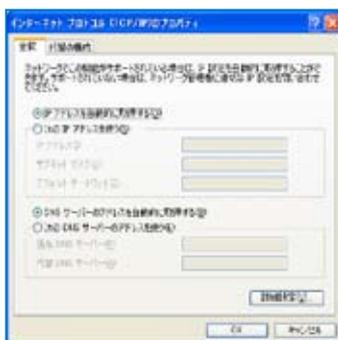
1. タスクバーのシステムトレイで、警告マークが表示されたネットワークアイコン  を右クリックし、「**ネットワーク接続を開く**」を選択してください。



2. 「**ローカルエリア接続**」を右クリックし、「**プロパティ**」を選択します。

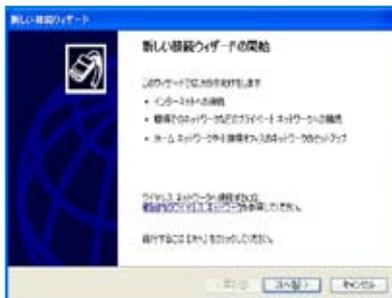


3. 「**インターネットプロトコル (TCP/IP)**」を選択し、「**プロパティ**」を選択します。
4. 全般タブの「**IPアドレスを自動的に取得する**」を選択し、「**OK**」をクリックします。

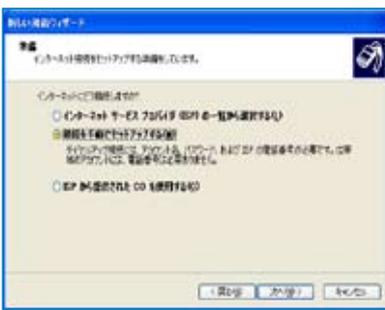


パソコン上にIDやパスワードの設定が必要なプロバイダ様の場合(PPPoe接続)

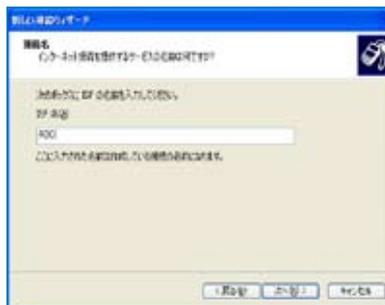
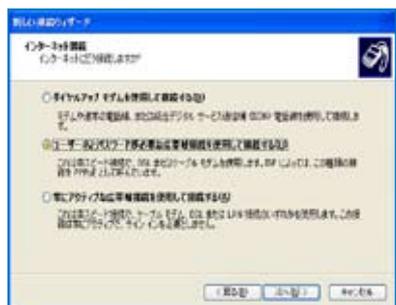
1. 「新しい接続を作成する」をクリックし、「新しい接続ウィザード」を開始します。
2. ウィザードが表示されますので、「次へ」をクリックします。



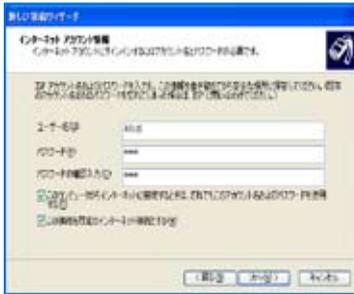
3. 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックします。
4. 「接続を手動でセットアップする」を選択します。



5. 接続タイプを選択し、「次へ」をクリックします。
6. ISP名を入力し、「次へ」をクリックします。



7. ユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
8. 「完了」をクリックし、設定を終了します。



9. ユーザー名とパスワードを入力します。「接続」をクリックしてインターネットに接続します。



詳しくは各社プロバイダ様へお問い合わせください。



静的 IP を使用する

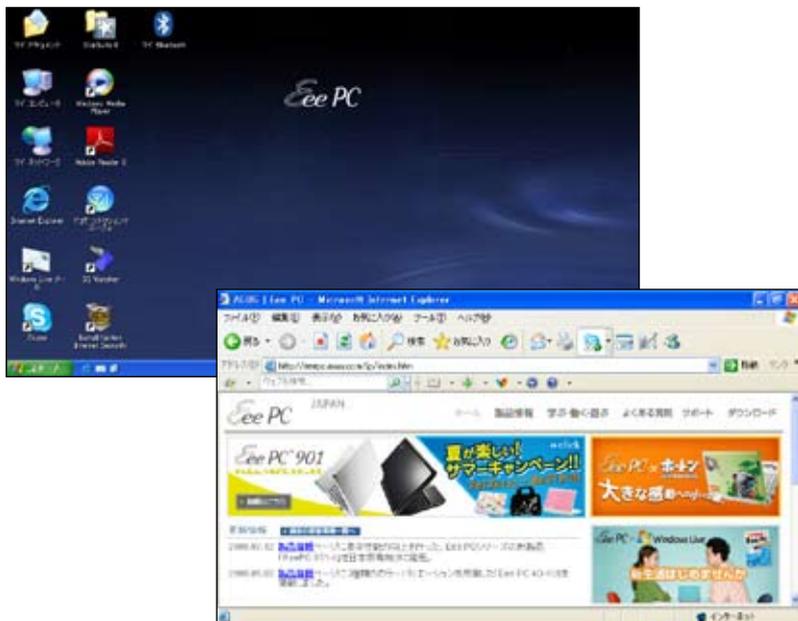
1. 静的 IP を使用する場合も、「動的 IP を使用する」の手順 1~3 まで同様の設定を行います。
2. 「次の IP アドレスを使う」を選択します。
3. プロバイダ提供の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。
4. 必要な場合、優先 DNS サーバーアドレスと代替 DNS サーバーアドレスを入力します。
5. 関連する項目を入力したら「OK」をクリックし、ネットワーク接続を確立します。



ネットワーク接続に問題がある場合は、ご契約のプロバイダ様にご相談ください。

Web ページを閲覧する

ネットワークのセットアップが終わったら、**Internet Explorer** を起動します。



ユーザー登録は <http://vip.asus.com> で行うことができます。また、Eee PC ホームページ (<http://eeepc.asus.com>) で最新情報を公開しております。是非ご利用ください。

ASUS Update

SIMカードを取り付ける

3 G Watcher

Bluetooth 接続

Super Hybrid Engine

Eee PCを使用する

3

ASUS Update

ASUS Update は本機のBIOSを Windows® 環境で管理/保存/更新できるツールです。機能は以下のとおりです。

- 使用中のBIOSファイルの保存
- 最新のBIOSファイルのダウンロード
- 更新したBIOSファイルからのBIOS更新
- インターネット経由でBIOSの直接更新
- 現在のBIOSバージョン情報の閲覧

本ユーティリティは本機にプリインストールされています。また、付属のサポートDVDにも収録されています。



ASUS Update の利用には、ネットワーク経由またはプロバイダ経由でのインターネット接続が必要です。

インターネット経由でBIOSを更新する

手順

1. デスクトップから、「スタート」→「すべてのプログラム」→「ASUS」→「ASUSUpdate for Eee PC」→「ASUSUpdate」の順にクリックし、ASUS Update を起動します。起動すると、メイン画面が表示されます。
2. リストから「インターネットからBIOSをアップデート」を選択し、「進む」をクリックします。



3. 最寄りの ASUS FTP サイトを選択するか、「自動選択」を選択し、「進む」をクリックします。

4. FTP サイトから BIOS バージョンを選び「進む」をクリックします。
5. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。



ASUS Update はインターネット経由でバージョン更新が可能です。定期的に変更することをお勧めします。

BIOSファイルからBIOSを更新する

手順

1. デスクトップから、「スタート」→「プログラム」→「ASUS」→「ASUSUpdate for Eee PC」→「ASUSUpdate」の順にクリックし、ASUS Update を起動します。起動すると、メイン画面が表示されます。
2. リストから「ファイルから BIOS をアップデート」を選択し、「進む」をクリックします。

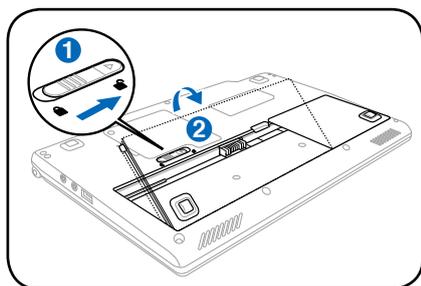


3. Open ダイアログから BIOS ファイルを探し、「開く」をクリックします。
4. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。

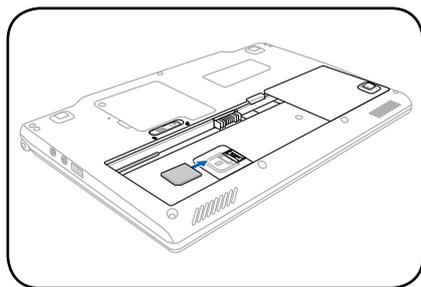
SIMカードを取り付ける

手順

1. バッテリーパックを本機から取り外します。



2. SIMカード用のスロットの位置を確認します(図参照)。続いて金色の端子が下を向くようにSIMカードを慎重にカードスロットに挿入します。別冊の「ドコモ コネクションマネージャ」のマニュアルも併せてご覧ください。



- SIMカードとその金色の端子は、傷がつきやすく非常にデリケートな構造で曲がりやすくなっています。トラブルを避けるため、SIMカード挿入の際は、SIMカードを水平に保ちながら本機の専用スロットに挿入してください。
- SIMカードは所定の位置までしっかり挿入してください。

3. バッテリーパックを取り付けます。

3G Watcher

1. 3G Watcher について

「3G Watcher」は3G通信機能を有効にするもので、「ドコモ コネクションマネージャ」を起動する前に起動する必要があります。

2. SMSエクスプレスについて

「3G Watcher」単独で「SMSエクスプレス」を用いて携帯電話のように携帯電話や3G端末にSMSメッセージを発信できます。このSMSエクスプレスによるSMSメッセージの送信は定額料金プランであっても別途メールの送信ごとに費用がかかります。



国内通信

- メール送信:
1通に付き5.25円(税込み)、確認機能付きメール送信の場合、1通に付き7.35円(税込み)
- メール受信:無料

海外通信

- メール送信:1通に付き100円
- メール受信:無料
 - ※海外通信のSMSでは消費税は加算されません。
 - ※確認機能の有無に関わらず1通に付き100円費用がかかります。
 - ※この料金は割り引きの対象とはなりません。

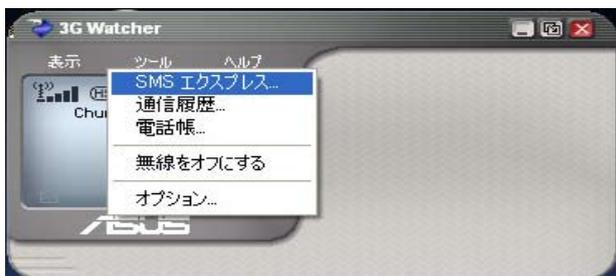
3. 国際ローミングについて

国際ローミングをご利用になる際は、下記の注意事項をご確認のうえご利用ください。



- ご利用にあたっては、ドコモの「WORLD WING」のお申込みが必要です。渡航前に必ず、お申込み状況をご確認ください。
 - ドコモの「定額データプラン」をご利用で「接続先限定」をお申込みの場合、「接続先限定」の解除をお申し出いただく必要があります。なお、接続は従量課金となります。
 - 海外ではドコモのローミングエリア（3G+GSM）のうち、パケット通信を提供しているエリアで利用可能です。海外で利用可能な国・地域についての詳細はドコモのホームページでご確認ください。
 - 海外ローミングについては定額料金は適応されません。なお、海外での通信料はドコモの「パケ・ホーダイ ダブル」や「Biz・ホーダイ ダブル」、「定額データプラン」など各種割引サービスの適用対象外です。
 - ドコモのFOMAデータプランをご利用いただく場合、海外での通信料はFOMAデータプランに含まれる無料通信分の適用対象外です。
 - 海外ローミング中のデータ通信料が非常に高額になる場合がありますので、ご利用にあたっては十分にご注意ください。
 - 海外でご利用になる際には、利用可能エリア・通信料・不通情報などについて必ず事前にドコモのホームページでご確認ください。
-

ツール



SMSエクスプレス

SMSメッセージを送信する

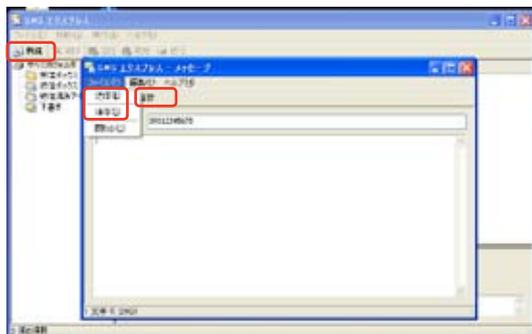
SMSメッセージを送信する場合、メッセージはネットワークに送信されてコピーは「送信済みアイテム」フォルダに保存されます。「送信済みアイテム」フォルダのメッセージを編集して再送信したり、以前に送信したメッセージを新しい受信者に送信することができます。また、メッセージを作成して「下書き」フォルダに保存して後で送信することもできます。

手順:

1. 「ツール」→「SMS エクスプレス」を選択します。
2. 「SMS エクスプレス」上で「新規」ボタンを押すとメッセージ作成ウィンドウが開きます。

「送信先」にSMSメッセージを送信する相手の電話番号を入力し、次にメッセージを作成します。

メッセージの作成が完了し、「送信」ボタンを押すと、SMSメッセージが送信されます。



3. 「下書き」でメッセージを作成してからSMSメッセージを送信したい場合は、ツールバーで「**ファイル**」→「**保存**」を選択するか、またはツールバーの「**保存**」ボタンをクリックします。

この操作で編集予定のメッセージは「下書き」フォルダに保存されます。

4. メッセージを編集する準備ができたなら「**SMS エクスプレス**」ウィンドウで「**下書き**」フォルダを選択します。
5. ヘッダーの任意の場所をダブルクリックすると「SMS エクスプレス - メッセージ」のウィンドウが開き、編集が可能となります。
6. 「SMS エクスプレス - メッセージ」ウィンドウで、メッセージを編集します。

送信相手の電話番号の入力は必須となります。

最低限1文字、あるいは1つの空白をメッセージに入力しない限り、「送信」ボタンが有効になりません。

7. メッセージの編集が完了したら「送信」ボタンをクリックすると、SMSメッセージが送信されます。

送信トレイはSIMではなく、コンピュータに保存されます。



SMSメッセージを読む

メインウィンドウのSMSメッセージ インジケータは、新しいメッセージを受信した場合に通知します。「オプション」ウィンドウの設定によって異なりますが、サウンドで通知される場合もあります。(SIMがいっぱいになると、インジケータは点滅して赤色になります。いくつかのメッセージを削除するまで新しいメッセージを受信することはできません)

SMSメッセージを読むには以下の操作を行います。

手順:

1. メインウィンドウで、SMS メッセージ インジケータをダブルクリックします。
—または—

「ツール」→「SMS エクスプレス」を選択します。

2. 「SMS エクスプレス」ウィンドウで、まだ選択していない場合は「受信トレイ」フォルダ を選択します。



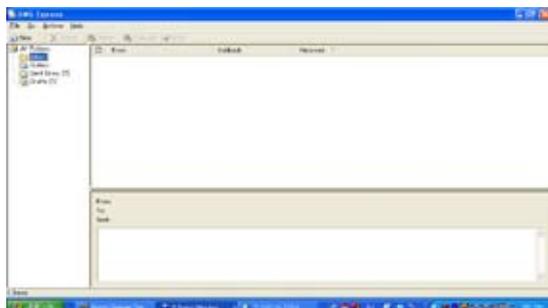
ウィンドウの一番上のセクションの各行は、SMSメッセージのヘッダーです。



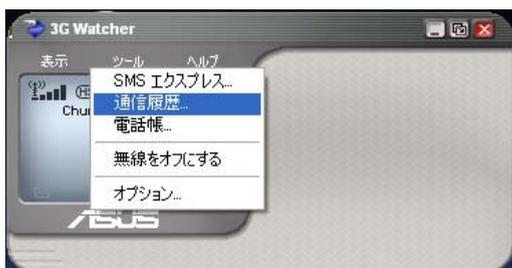
メッセージヘッダーの横にあるアイコンはメッセージが未読であるか既読 であることを示します。

3. メッセージを表示するメッセージ ヘッダーを選択します。

4. 表示されたら、メッセージは既読としてマークが付けられます。



通信履歴



データセッション

「**通信履歴**」ウィンドウにキャリアの名前、日付、およびデータセッションの期間が表示されます。また、各セッション中に送受信したデータの量も表示されます。

データセッションに情報を表示するには、以下の操作を行います。

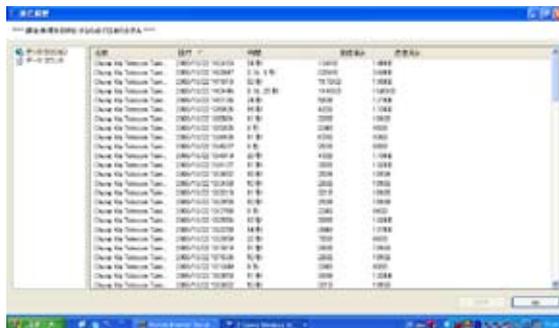
手順：

1. 「**ツール**」→「**通信履歴**」→「**データセッション**」を選択します。

データセッション履歴を削除するには、以下の操作を行います。

手順：

1. 「**ツール**」→「**通信履歴**」→「**データセッション**」を選択します。
2. 「**クリア**」ボタンをクリックします。



データカウンタ

「通信履歴」ウィンドウにリセットできるユーザのデータカウンタおよびリセットできないライフタイムのデータカウンタが表示されます。

データカウンタを表示するには、以下の操作を行います。

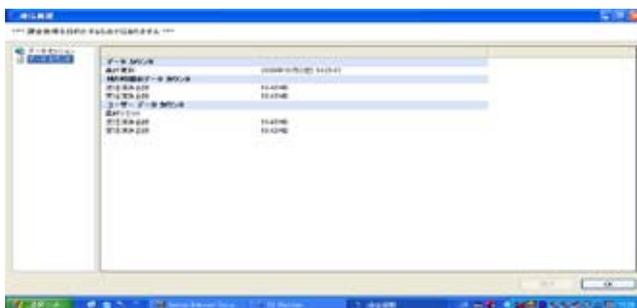
手順：

1. 「ツール」→「通信履歴」→「データカウンタ」を選択します。

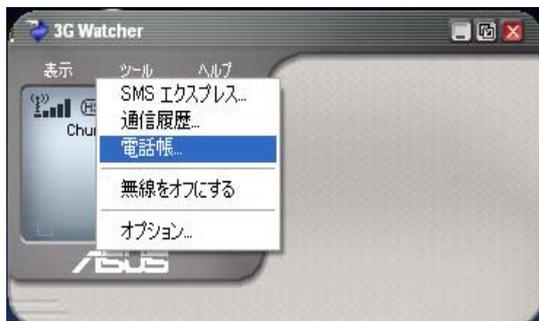
ユーザのデータカウンタをリセットするには、以下の操作を行います。

手順：

1. 「ツール」→「通信履歴」→「データカウンタ」を選択します。
2. 「クリア」ボタンをクリックします。



電話帳



電話帳の使い方

電話帳には、よく使用する連絡先の電話番号と名前を登録し保存することができます。登録すれば、短時間でメッセージの送信が可能になります。



固定番号機能を有効にすると、電話帳の機能は使用できなくなります。

電話帳を閲覧するには、以下の操作を行います。

手順：

1. メインウインドウから「**ツール**」→「**電話帳..**」を選択します。

電話帳に連絡先を登録するには、以下の操作を行います。

手順：

1. 「**新規**」をクリックします。
2. 名前と電話番号を入力し、「**OK**」をクリックします。

登録した連絡先を編集するには、以下の操作を行います。

手順：

1. 「**編集したい連絡先**」を2度クリックします。
—または—
「**編集したい連絡先**」を選択し、「**ファイル**」→「**開く**」の順にクリックします。
2. 名前と電話番号を変更し、「**OK**」をクリックします。

登録した連絡先を削除するには、以下の操作を行います。

手順：

1. 連絡先を選択します。
2. 「**削除**」をクリックします。
3. 「**はい**」をクリックします。

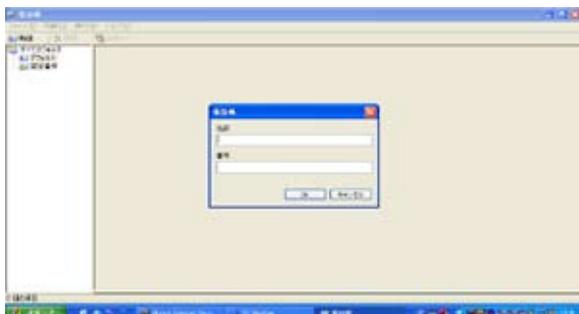
連絡先に通話するには、以下の操作を行います。

手順：

1. 連絡先を選択します。
2. 「**ダイアル**」をクリックします。
このとき、イヤホンは接続した状態です。

電話帳の連絡先にメッセージを送るには、以下の操作を行います。

1. 連絡先を選択します。
2. 「**メッセージ**」をクリックします。
—または—
「**操作**」→「**メッセージ**」を選択します。



無線をオフにする

終了時に無線をオフにする

このオプションが有効になっている場合は、3G Watcher を終了するときに無線WANの送受信はオフになります。

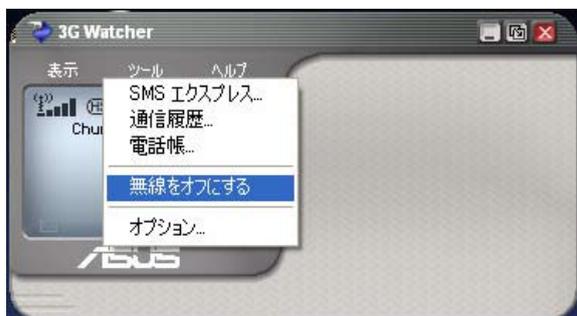
3G Watcher を終了した後でデータを送受信する必要がない場合、このオプションを使用すると、電池の寿命が延びます。

このオプションを有効 (または無効) には、以下の操作を行います。

なお、<Fn+F2>キーの操作で本機搭載の通信機器を一切利用しない設定にしても下記の操作を実行しない限り、本機搭載の無線WAN機能の送受信は送受信が可能なままとなります。ご注意ください。

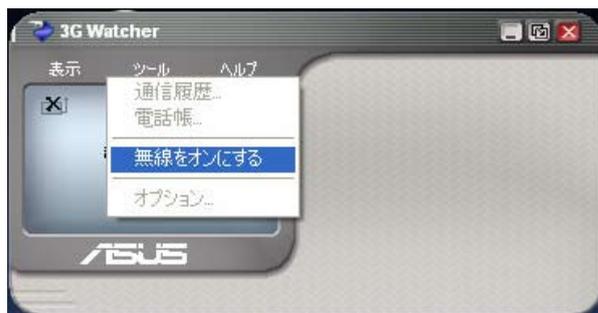
手順:

1. メインウィンドウから、「ツール」→「無線をオフにする」を選択します。



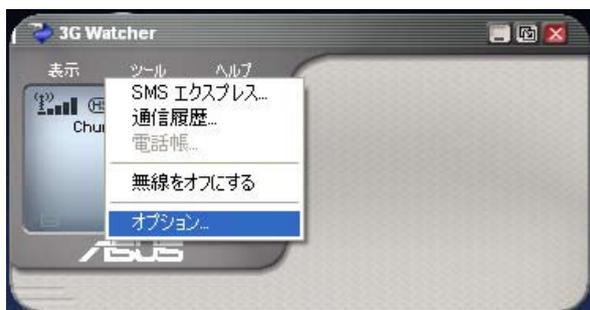


無線をONにする



1. メインウインドウから、「ツール」→「無線をオンにする」を選択します。

オプション



SIMセキュリティ

SIMセキュリティはSIMの不正使用を防止する機能です。この機能が有効になると、SIMをモデムやその他のデバイス（携帯電話など）で使用する際、PIN入力が必要になります。

キャリアによって最初に割り当てられたPIN1がないと、この機能を使用することができません。

SIMセキュリティが有効になると、モデムを挿入したり、リセットしたりする場合にPIN入力画面が表示されます。（これは、消費電力の送信など、特定の設定が変更された場合にリセットされます）



SIMセキュリティが有効になっていてPINを忘れた場合は、キャリアからの支援を受けるまでモデムを使用することはできません。

SIMセキュリティを有効にするには、以下の操作を行います。

手順：

1. メインウィンドウで、「ツール」→「オプション」→「SIM設定」の順に選択します。
2. 「有効」をクリックし、「はい」を選択します。
3. 「PINを入力してください」フィールドにPIN1を入力して「適用」ボタンをクリックします。



特定の試行回数内に正確なPINを入力する必要があります。不正なPINを入力すると、3G Watcher は「不正なPIN」のメッセージを表示して残りの試行が1つ減ります。指定された試行回数内に正確なPINを入力できないと、SIMはロックされます。

4. 「はい」をクリックしてSIMセキュリティを有効にすることを確認します。

3G Watcher でSIMセキュリティを有効にすると、メインウィンドウに「PINを入力してください:残りの試行 = x」のプロンプトが表示されます。

SIMをブロック解除して3G Watcher を使用するには、以下の操作を行います。

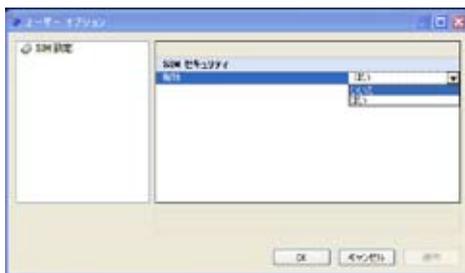
手順:

1. PIN1 を入力して「送信」ボタンをクリックします。

SIMセキュリティを無効にするには、以下の操作を行います。

手順:

1. メインウィンドウで、「ツール」→「オプション」→「SIM 設定」の順に選択します。
2. 「有効」をクリックし、「いいえ」を選択します。
3. 「PINを入力してください」フィールドにPINを入力して「適用」ボタンをクリックします。



SIMセキュリティを有効にすると、Windows 起動後、3G Watcher の初回起動時にPINコード入力が必要となります。PINコード入力後、3G Watcherをいったん閉じて、再度3G Watcher を開く場合にはPINコード入力は必要ありません。ただし、利用中にWindows がスタンバイモードに入った場合、スタンバイ復帰後に3G Watcher 利用する場合はPINコードが必要となります。

ヘルプ

ドライバを再インストールする



デバイスのソフトウェア インストールモード

このメッセージは、TRU-Install モデムでのみ表示されます。TRU-Install モデムにはインストール CD がありません。3G Watcher ソフトウェアはモデムから直接インストールされます。

ソフトウェア インストール モードでは、ソフトウェアのインストールと修復を実行でき、TRU-Install CD-ROM ドライブにあるアイテムを調べることができます。

3G Watcher ソフトウェアをインストールする手順

1. 「ヘルプ」→「**ドライバを再インストールする**」を選択します。
2. 画面に表示された指示に従います。

更新の確認

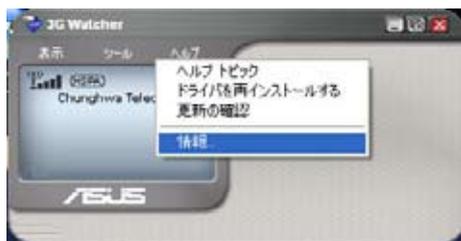


「ヘルプ」→「更新の確認」を選択します。

TRU-Updater が使用可能な更新を確認します。



情報



バージョン情報

「3G Watcher バージョン情報」ウィンドウには、次の情報が表示されます。

- 3G Watcher および使用しているコンポーネントのバージョン
- 使用しているネットワークカード (NDIS: Network Driver Interface Specification) ドライバのバージョン
- 使用しているファームウェア (モデムのフラッシュ メモリに常駐しているソフトウェア) のバージョン
- ファームウェアのリリース日付
- 使用しているブートローダー (ファームウェアの1 コンポーネント) のバージョン
- モデムのハードウェアのバージョン



-
- **Skype & Live Messenger について：**
定額プランご契約の場合、メッセージサービスとSkype サービスはご利用になれません。これらサービスをご利用される場合は、従量プランでのご契約が必要となります。
 - **グローバルローミングサービスについて：**
定額プランご契約の場合、グローバルローミングサービスは適用されません。ローミングサービスのご利用で発生する料金は従量課金となります。
定額プランで3Gサービスまたはグローバルローミングサービスを通してSMS Express、Skype、Live Messengerの各サービスをご利用になる際は、定額プラン以外の料金が発生する場合があります。詳細についてはドコモまたはプロバイダに確認するか各Webサイトでご確認ください。
 - **SIMロックの動作について：**
SIMセキュリティにより、Windows を起動し3G Watcher を起動すると、PINコードを入力する必要があります。なお、1度入力すれば、Windows をシャットダウンしない限り、PINコードの入力は不要です。ただし、スタンバイモードから復帰する場合はPINコードの入力が再度必要となります。
-

Bluetooth 接続

Bluetooth 技術により、Bluetooth を有効にしたデバイスを接続する際、ケーブルが不要になります。Bluetooth 接続が可能なデバイスは、ノートブック PC、デスクトップ PC、携帯電話、PDA等があります。

手順

1. 「Bluetooth ON」または「WLAN & Bluetooth ON」が表示されるまで <Fn> + <F2> を押します。
2. デスクトップから「マイBluetooth」をダブルクリックし、画面の指示に従って初期化を完了します。「次へ」をクリックして続行します。



3. Eee PCに名前を付け、コンピュータの種類を選択したら「次へ」をクリックして続行します。
4. このコンピュータから他のBluetooth デバイスに提供するサービスを設定するために、「次へ」をクリックします。



5. このコンピュータで提供するサービスを選択し、「次へ」をクリックします。
6. 「次へ」をクリックし、Bluetooth 接続のセットアップを開始します。



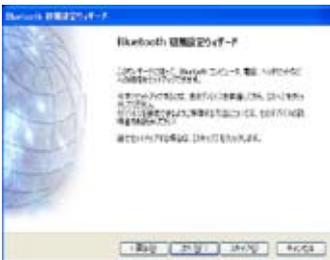
7. リストからBluetooth が有効になっているデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。
8. Bluetooth セキュリティコードを入力し、ペアリングを開始します。



9. ペアリングが完了したら、リストから使用するサービスを選択し、「次へ」をクリックします。
10. 「選択したサービスのショートカットがWindows Explorerの [マイBluetooth] 画面に作成されました。」というメッセージが表示されます。「今後このメッセージを表示しない」の項目にチェックを入れて、「OK」をクリックして続行してください。



11. 後で接続をセットアップする場合は、「スキップ」をクリックして続行します。
12. 「完了」をクリックして bluetooth の初期設定ウィザードを完了します。

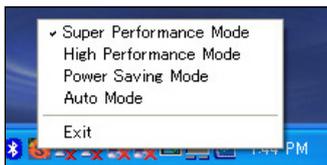


Super Hybrid Engine

Super Hybrid Engine により、異なる電源モードが使用できます。モードの切り替えは、インスタントキーで行います。モードの切り替えは、下記の4通りがあります。省電力モードはEee PCを制御し、パフォーマンス対バッテリー時間を最大化します。選択したモードはディスプレイに表示されます。

電源モードを変更する

- 「スタート」→「プログラム」→「ASUS」→「EeePC」→「SuperHybridEngine」をクリックします。1度クリックすると、下記のSuper Hybrid Engine モードの図の順に1つずつモードが切り替わります。
- Super Hybrid Engine キーまたはFn + Spacebar を繰り返し押し、電源モードを切り替えます。(Super Hybrid Engine キーの詳細説明はページ 1 - 3 を、Fn + Spacebar はページ 1 - 11をご参照ください。)
- システムトレイでSuperHybridEngine アイコンを右クリックし、使用する電源モードを選択します。



Super Hybrid Engine モード



Auto High-Performance

モードはACアダプタ使用時のみ、**Auto Power-Saving** モードはACアダプタを使用していないときだけ利用できるモードです。



外付けディスプレイが、**Power Saving** モード利用時に 1024 × 768 ピクセル以上の解像度で正しく動作しない場合は、<Fn> + <F5> を押してディスプレイモードを**LCD Only**または**LCD + CRT Clone**に切り替え、電源モードを**High Performance**または**Super Performance**に設定し直してください。

サポートDVD情報

システムリカバリー

Boot Booster

Norton Internet Security 60日体験版

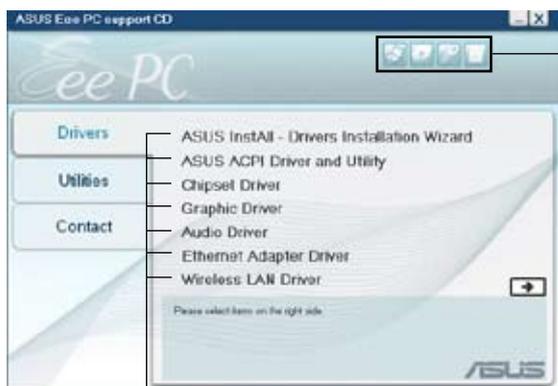
システムリカバリー **4**

サポートDVD情報

本製品に付属のサポートDVDには、各種ドライバ及びソフトウェア、ユーティリティが収録されています。

サポートDVDを実行する

サポートDVDを外付け光学ドライブに入れます。オートランが有効になっていれば、自動的にドライバメニューが表示されます。



アイコンをクリックしてDVD/ Eee PCの各情報を表示

インストールする項目



オートランが無効になっている場合は、サポートDVDのコンテンツを参照し、BINフォルダからファイル「ASSETUP.EXE」を探し、ダブルクリックしてください。



サポートDVDに収録されている各種ドライバ及びユーティリティは予告なく変更されることがあります。

ドライバメニュー

ドライバメニューには、システムがデバイスを検出すると、利用可能なデバイスドライバが表示されます。必要に応じてドライバをインストールしてください。

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューには、Eee PCがサポートするアプリケーションが表示されます。

連絡先メニュー

連絡先タブをクリックすると、ASUSコンタクトインフォメーションが表示されます。

その他の情報

画面右上のアイコンをクリックすると、本製品の補足情報と、サポートDVDのコンテンツがそれぞれ表示されます。



システム情報



テクニカルサポート



DVDコンテンツ



ファイルリスト

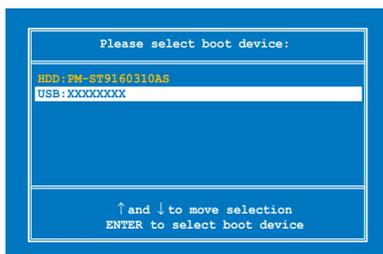
システムリカバリー

サポートDVDを使用する

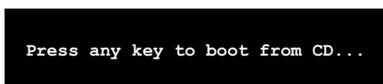
サポートDVDには、工場出荷時にインストールされたOSイメージが収録されています。サポートDVDは包括的なリカバリーソリューションで、システムドライブが正常に動作していれば、システムを本来の動作状態に復元します。サポートDVDのリカバリー機能を使用する前は、必ずデータファイル（Outlook PSTファイルなど）をUSBフラッシュメモリやネットワークドライブなどにコピーし、また各ユーザー設定（ネットワーク設定等）もバックアップしてください。

1. 外付けの光学ドライブをEee PCに接続し、サポートDVDをドライブに挿入します（システムの電源はON）。

2. 起動後、ASUSロゴが表示されている間に<ESC>を押すと「Please select boot device」画面が表示されます。「USB:XXXXXX」を選択し、光学ドライブから起動するデバイスに設定します。デバイスは光学ドライブのブランド名が表示されます。



3. 画面に以下のメッセージが表示されたら数秒以内に任意のキーを押し、リカバリーを開始します。時間内に任意のキーを押さない限り、リカバリーは開始されません。



4. 「Recovery System for Eee PC」ダイアログボックスが表示されたら「OK」をクリックします。



5. 「Yes」をクリックしてシステムリカバリーを開始します。





システムリカバリーを実行すると、全てのデータが消去されます。実行する前に重要なデータを必ずバックアップしてください。

6. システムリカバリーが終了したら、サポートDVDを光学ドライブから取り出します。「OK」をクリックして本機を再起動します。



7. 再起動後、コンピュータは自動的に内蔵HDDまたはSSD上に再構築されたリカバリーイメージより復元を実行します。およそ5分程度で完了し、「reboot」と表示され、自動的に再起動します。

以上でシステムリカバリーは完了です。Windowsの初回セットアップを行ってください。

システムディスクパーティションを使用する

リカバリーパーティションとは

リカバリーパーティションは、内蔵HDDまたはSSD上に保存されたある一定の領域で、工場出荷時にインストールされたOS、ドライバ、ユーティリティが保存されており、それらを復旧する際に使用します。

リカバリーパーティションを使用する：



システムリカバリーをUSBフラッシュメモリ、外部オプションドライブ、または隠しパーティションから行う場合は、事前に「Boot Booster」をBIOSで無効にしてください。詳細は次項をご参照ください。

1. システムの電源をONにした後、起動中に<F9>を押します。(リカバリーパーティションが必要)
2. チェックマークボタンをクリックし、システムリカバリーを開始します。
3. リカバリー作業が自動的に始まります。その後は、画面の指示に従ってリカバリーを実行してください。

Boot Booster

BIOSセットアップ項目「Boot Booster」を有効にすると、Eee PCの起動時間は短くなりますが、Eee PCコンポーネントを変更したり、システムリカバリーをUSBフラッシュメモリ、外部オプションドライブ、または非表示になったパーティションから行う場合は、事前にこの項目を無効にする必要があります。以下の指示に従って、Boot Boosterを無効にしてください。



Boot Booster を利用するには以下の条件を満たす必要があります。

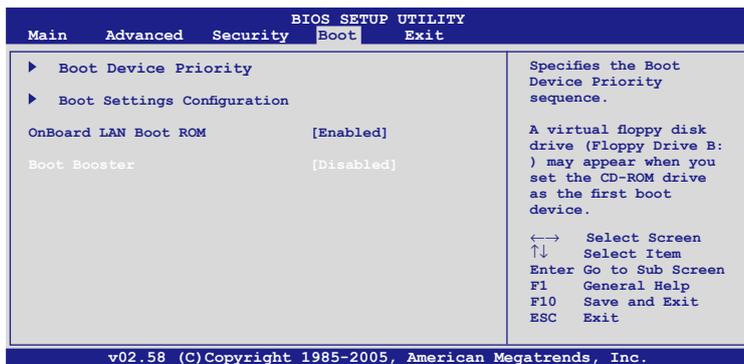
- 出荷時にバンドルのOSを使用する。
- SATA2ハードディスクを使用している場合は、ハードディスクのパスワードを全て無効にする。
- BIOS起動時のパスワードを設定しない。

1. システムを起動し、起動時に **<F2>** を押してPOST画面を表示させます。**<F2>** を再び押してBIOSセットアップに入ります。



上記の操作を実行してもPOST画面が表示されない場合、またはBIOSセットアップが開かない場合は、システムを再起動し、起動時に**<F2>**を繰り返し押してください。

2. **Boot Booster** を [Disabled] に設定します。



3. **<F10>** を押して設定を保存し、Eee PCを再起動します。



ハードウェアの変更、システムリカバリーの後は、Boot Boosterを有効にしてください。

Norton Internet Security 2009 60日間体験版

本製品には「Norton Internet Security 2009 60日間体験版」がプレインストールされておりますが、初期状態では有効になっておりません。以下の手順を参照しセットアップとアクティベーションを実行してください。

また、他社のセキュリティソフトをご利用されるお客様は、以下の手順は実行せず、「**Install Norton Internet Security**」のアイコンは削除して問題ございません。

1. デスクトップの「**Install Norton Internet Security**」のアイコンをダブルクリックします。



2. 「同意してインストール」をクリックします。



3. 「ただ今、インストール中です」と画面に表示されますので、数分お待ちください。



4. 自動的にインストールが完了し、デスクトップ上とタスクバーに「Norton Internet Security」アイコンが新しく追加されます。



5. 「Install Norton Internet Security」のアイコンはセットアップ終了後に削除しても問題ございません。削除する場合は、アイコン上で右クリックし、「削除」を選択します。

Declarations and Safety Statements

Copyright について

責任制限

サービスとサポート

付録

Declarations and Safety Statements

Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. This device contains FCC ID: TLZ-BT253. This device contains IC ID: 6100A-AWBT253. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301]
- Testing according to [489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

CE Mark Warning

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.

C E0682!

Wireless Operation Channel for Different Domains

| | | |
|-------------|-----------------|-------------------|
| N. America | 2.412-2.462 GHz | Ch01 through CH11 |
| Japan | 2.412-2.484 GHz | Ch01 through Ch14 |
| Europe ETSI | 2.412-2.472 GHz | Ch01 through Ch13 |

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz



Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

| | | |
|-------------------|-------------|-------------------|
| 01 Ain Orientales | 02 Aisne | 03 Allier |
| 05 Hautes Alpes | 08 Ardennes | 09 Ariège |
| 11 Aude | 12 Aveyron | 16 Charente |
| 24 Dordogne | 25 Doubs | 26 Drôme |
| 32 Gers | 36 Indre | 37 Indre et Loire |

| | | |
|------------------------|--------------------------|----------------|
| 41 Loir et Cher | 45 Loire | 50 Manche |
| 55 Meuse | 58 Nièvre | 59 Nord |
| 60 Oise | 61 Orne | 63 Puy du Dôme |
| 64 Pyrénées Atlantique | 66 Pyrénées | 67 Bas Rhin |
| 68 Haut Rhin | 70 Haute Saône | |
| 71 Saône et Loire | 75 Paris | |
| 82 Tarn et Garonne | 84 Vaucluse | 88 Vosges |
| 89 Yonne | 90 Territoire de Belfort | |
| 94 Val de Marne | | |

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)



Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されます。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

RF Exposure information (SAR)

THIS MODEL MEETS US GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The ICNIRP SAR limit for mobile devices used by the general public is 1.6 W/kg and the maximum value of this device is 0.048W/kg.

| Band | Position | SAR(W/kg) |
|---------------|----------|-----------|
| GSM850 | Body | 0.022 |
| GSM1900 | Body | 0.048 |
| WCDMA Band V | Body | 0.013 |
| WCDMA Band II | Body | 0.031 |

Safety information

Electronic devices

Most modern electronic equipment is shielded from RF energy. However, certain electronic equipment may not be shielded against the RF signals from your Eee PC.

ペースメーカーについて

Health Industry Manufacturers' Association : 医療産業製造業者協会 (米国) はペースメーカーの誤作動を防ぐため、電話機はペースメーカーから最低22センチ以上離して使用することを推奨しています。なお、この電話機のペースメーカーに及ぼす影響に関する推奨内容は、Wireless Technology Research社 (米国) が単独で行った調査とその推奨内容に一致するものです。

ペースメーカーをお使いの方へ：

- モバイル機器の電源がONになっている状態では、常にペースメーカーから22センチ以上離してご使用ください。
- ペースメーカーの誤作動が発生した場合は、モバイル機器の電源をすぐにOFFにしてください。

Other medical devices

If you use any other personal medical device, consult the manufacturer of your device to determine if it is adequately shielded from external RF energy. Your physician may be able to assist you in obtaining this information.

Turn your mobile device off in healthcare facilities when any regulations posted in these areas instruct you to do so.

Hospitals or healthcare facilities may be using equipment that could be sensitive to external RF energy.

Vehicles

RF signals may affect improperly installed or inadequately shielded electronic systems in motor vehicles. Check with the manufacturer or its representative regarding your vehicle. You should also consult the manufacturer of any equipment added to your vehicle.

Posted facilities

Turn your phone off where posted notices so require.

Aircraft

Regulations prohibit using your mobile device while in the air. Switch off your mobile device before boarding an aircraft or turn off the wireless connections.

Blasting areas

To avoid interfering with blasting operations, turn your mobile device off when in a 'blasting area' or in areas posted: 'Turn off two-way radio.' Obey all signs and instructions.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Eee PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the Eee PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the Eee PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the Eee PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (nonrechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- Do not dispose the Eee PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- Do not use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².



左のマークは、本製品が電気製品または電子装置であり、水銀を含むボタン電池を使用しており、地域のゴミと一緒に捨てられないことを示すマークです。廃棄の際は、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則等に従って下さい。

Declaration of Conformity

We, Manufacturer/Importer
(full address)

**ASUS COMPUTER GmbH HARKORT STR. 25
40880 RATINGEN, BRD. GERMANY**

declare that the product
(description of the apparatus, system, installation to which it refers)
is in conformity with

(reference to the specification under which conformity is declared)

in accordance with 2004/108/EC-EMC Directive and 1999/5 EC-R & TTE Directive

Product name: Eee PC

Model name : Eee PC 1003HAG

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> EN 50392 | Generic standard to demonstrate the compliance of electronic and electrical apparatus with the basic restrictions related to human exposure to electromagnetic fields (0 Hz-300GHz) | <input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2* | Disturbances in supply systems caused |
| <input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3* | | <input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3* | Disturbances in supply systems caused |
| <input type="checkbox"/> EN 50360 EN 50361 | the limitation of exposure of the general public to electromagnetic network equipment fields (0 Hz to 300 GHz) International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (1998), Guidelines for limiting exposure in time-varying electric, magnetic and electromagnetic fields | <input checked="" type="checkbox"/> EN 300328 | Electromagnetic compatibility and Radio spectrum Matters (ERM); wideband transmission equipment operating in the 2-4GHz ISM band and using spread spectrum modulation techniques. Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TTE Directive |
| <input type="checkbox"/> EN50081-1 | Generic emission standard Part 1: Residual, commercial and light industry | <input checked="" type="checkbox"/> EN50332-1 <input checked="" type="checkbox"/> EN50332-2 | Sound system equipment-Headphones and earphones associated with portable audio equipment-Maximum sound pressure level measurement methodology and limit considerations-Part2:Matching of sets with headphones if either Or both are offered separately, part1: General method for 'one package equipment' |
| <input type="checkbox"/> EN50082-2 | Generic immunity standard Part 2: Industrial environment | | |
| <input type="checkbox"/> EN 55020 | Immunity from radio interference of broadcast receivers and associated equipment | <input checked="" type="checkbox"/> EN 301511 | Global System for Mobile communications (GSM);Harmonized EN for mobile stations in the GSM 900 and GSM 1800 bands covering essential requirements under article 3.2 of the R&TTE directive (1999/5/EC) |
| <input checked="" type="checkbox"/> EN 55022 | Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of information technology equipment | <input checked="" type="checkbox"/> EN 301 908-1 | Electromagnetic compatibility and Radio spectrum Matters (ERM);Base Stations (BS), Repeaters and User Equipment (UE) for IMT-2000 Third-Generation cellular networks; Part 1: Harmonized EN for IMT-2000, introduction and common requirements, covering essential requirements of article 3.2 of the R&TTE Directive |
| <input checked="" type="checkbox"/> EN 55024 | Information Technology equipment-Immunity characteristics-Limits and methods of measurement | | |
| <input type="checkbox"/> EN 55013 | Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of broadcast receivers and associated equipment | | |
| <input type="checkbox"/> EN 50385 | Product standard to demonstrate the compliances or radio Base stations and fixed terminal stations for wireless telecommunication systems with the basic restriction or the reference level to human exposure to radio frequency electromagnetic field (110MHZ-40GHZ) -General public | <input checked="" type="checkbox"/> EN 301489-1 <input checked="" type="checkbox"/> EN 301489-7 <input checked="" type="checkbox"/> EN 301489-24 | Electromagnetic compatibility and Radio spectrum Matters (ERM); Electromagnetic compatibility(EMC) standard for radio equipment and services; Part1: Common technical requirements; Part 7 : Specific conditions for mobile and portable radio and ancillary equipment of digital cellular radio telecommunications systems (GSM and DCS) ; Part24: Specific conditions for IMT-2000 CDMA Direct Spread (UTRA) for Mobile and Portable (UE) radio and ancillary equipment |
| <input type="checkbox"/> EN 300386 | Electromagnetic compatibility and Radio spectrum Matters (ERM);Telecommunication Electromagnetic Compatibility (EMC) requirements | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> CE marking | | | |



(EC conformity marking)

The manufacturer also declares the conformity of above mentioned product with the actual required safety standards in accordance with LVD 2006/95/EC

- | | | | |
|-----------------------------------|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> EN 60065 | Safety requirements for mains operated electronic and related apparatus for household and similar general use | <input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1 | Safety for information technology equipment including electrical business equipment |
|-----------------------------------|---|--|---|

Manufacturer/Importer

(Stamp)

Date : Jan. 23 , 2009

Signature:

Name : Jonathan Tseng

Nordic Lithium Cautions (リチウムバッテリーについて)



CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)



ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)



VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)



ADVARSEL! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)



WARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)



VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan suosittelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistajan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)



ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)



ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)



注意：バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。(Japanese)

Copyright について

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

Copyright © 2009 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作为または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで「Language」から「Japanese」を選択してください。

<http://support.asus.com>